

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	函南町地域住宅等整備計画（地域住宅計画）
② 道府県名	静岡県
③ 計画作成主体	静岡県、函南町
④ 計画期間	平成 21 年度 ～ 25 年度
⑤ 計画の目標	住宅セーフティネットの機能の向上 住宅・住宅地の安定性の確保 人や環境にやさしい住宅・住環境の向上 定住を促進する住宅支援、住宅地整備
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	
⑥ 事後評価の結果	<p>指標①：「住宅の居住性及び住環境の向上が必要な住宅の割合」 定 義：トイレを水洗化することにより居住性及び住環境が向上する住宅の数 評価方法：上記指標を用いて票を実施する 結 果：従前値:40 戸（21 年度）⇒目標値:85 戸（25 年度）⇒<u>実績値:85 戸</u> 結果の分析：目標値 85 戸達成することができた。</p> <p>指標②：「高齢者対応を図る住宅の数」 定 義：便器を和式から洋式に替えることにより高齢者に対応した住宅にする数 評価方法：上記指標を用いて票を実施する 結 果：従前値:31 戸（21 年度）⇒目標値:85 戸（25 年度）⇒<u>実績値:85 戸</u> 結果の分析：目標値 85 戸達成することができた。</p> <p>指標③：「居住性向上を図る住宅の数」 定 義：開口部をアルミサッシ化することにより居住性が向上する住宅の数 評価方法：上記指標を用いて票を実施する 結 果：従前値:50 戸（21 年度）⇒目標値:85 戸（25 年度）⇒<u>実績値:85 戸</u> 結果の分析：目標値 85 戸達成することができた。</p>
⑧ 結果の公表方法	ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	<p>（事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画に反映すべき事項や目標を達成するための措置等を記載。地域住宅協議会等において協議を行った場合はその旨を記載。）</p> <p>1) 函南町地域住宅等整備計画（地域住宅計画） 老朽化した住宅の改善により、安全で安心な住環境向上のための整備の実現 老朽化した住宅の改善により、安全で安心な居住性向上のための整備の実現 耐震化促進により、災害に対して安全で安心な住宅の整備の実現</p> <p>2) 計画期間 H26－H30 年度（5 年間）</p> <p>3) 目標値 外壁・屋上の塗装（防水塗装を含む）を実施する 60 戸 風呂をバランス釜から室外給湯器に替える 15 戸 耐震性を確保した木造住宅累計棟数の向上 35 棟</p>
⑩ その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。